

# 親子関係に関する調査結果の概要

## (生活文化局平成14年度調査)

### 調査方法等

#### 1 調査目的

人との関わりを十分に持てず、自立できない非社会的行動をとる青少年の増加が問題となっている。本調査では、親の価値観や行動が子どもにどのような影響を与えているか、子どもがどういう判断基準を持っているかなど、親子関係を中心に子どもの生活実態と意識の現状を把握するため実施

#### 2 調査項目

##### こども票

- (1) 生活実態(生活時間、生活習慣、お小遣い、学校生活、メディア、休みの過ごし方)
- (2) 思考(興味のあるもの、将来、悩み・心配事)
- (3) 親子関係(両親との関係、母の理解度、父の理解度、家族等との関係)
- (4) 社会性(逸脱行為等、イライラ感、自己評価)
- (5) 価値観(行動基準)

##### 親 票

- (1) 子育て姿勢(子どもの生活習慣、携帯電話、お小遣い、学習塾、休みの過ごし方、子どもの食事)
- (2) 子育て意識(子どもの将来、重要視していること、子育ての喜び、意義、子育てでの悩みや心配事)
- (3) 親子関係(子どもとの関係、子どもへの理解度、子どもの興味、子どもと家族等との関係)
- (4) 子の社会性(子どもの最近の行動)
- (5) 価値観(価値観の把握)

#### 3 調査設計

##### (1) 調査対象

- ・東京都(島しょを除く)に居住する小学5年生本人及びその父親500組並びに本人及びその母親500組
- ・東京都(島しょを除く)に居住する中学2年生本人及びその父親500組並びに本人及びその母親500組

##### (2) 標本数 4,000標本

##### (3) 調査方法 訪問留置、訪問回収法

##### (4) 調査期間 平成14年11月～平成15年1月

#### 4 回収結果

1,440人(回収率36.0%)

内訳:小学5年生男子210人、小学5年生女子181人、中学2年生男子164人、中学2年生女子165人  
小学5年生の父親95人、小学5年生の母親296人、中学2年生の父親82人、中学2年生の母親247人

## 調査結果概要

### 1 生活習慣

#### 朝食

「毎日食べる」は、小5で9割、中2で8割

小5の1割、中2の約3割が「一人で食べる」と回答

#### 家で勉強する時間

小5では「30分くらい」が44%と最も高く、次いで「1時間くらい」が28%

中2では「ぜんぜんしない」が35%と最も高く、次いで「30分くらい」26%

#### 塾で勉強する時間

小5では「ぜんぜんしない」が39%と最も高く、次いで「2時間くらい」23%

中2では「2時間くらい」が39%と最も高く、次いで「ぜんぜんしない」36%

#### 宿題や勉強をいわれなくてもやる

「いつもする」は、小5で33%、中2では女子40%に対し、男子は24%

#### 友達と遊ぶ時間

小5では「2時間くらい」が4割と最も高く、中2では「ぜんぜんしない」が4割

#### テレビを見る時間

小5(33%)も中2(31%)も「2時間くらい」が最も高い

#### テレビゲーム

男子は「1時間くらい」が小5で51%、中2で38%

女子では「ぜんぜんしない」が小5で57%、中2で75%

#### 読書

「本を全く読まない」は、小5で35%、中2で41%

#### マンガ・雑誌

「30分くらい読む」が最も高く、小5で33%、中2で37%

#### 就寝時間

小5は「午後10時」(27%)、中2では「午後11時」(26%)が最も高い。

小5では9割が11時までに就寝し、中2の3割は12時以降に就寝している。

### 2 学校生活

#### 学校で楽しいこと

小5では「友達と遊ぶこと」が90%と最も高く、次いで「友達とのおしゃべり」の81%

中2では「友達とのおしゃべり」が86%と最も高く、次いで「友達と遊ぶこと」の74%

#### 学校で嫌なこと

「嫌いな先生がいる」が小5で30%、中2で47%と最も高い。

#### 担任の先生

「理解されている」と思っているのは、小5で75%、中2で58%

「分かっていない」と思っているのは、小5で22%、中2で40%

興味のあること

「友達との遊び」が小5で62%、中2で50%と最も高い。

休みの過ごし方

小5は「家族で買い物や外出に出かける」「家族とテレビをみたり、おしゃべりをする」(ともに56%)が高く、中2は「部屋でマンガを読んだり音楽を聴いたりする」(63%)、「部屋でテレビをみたり、テレビゲームをする」(53%)が高い。

### 3 携帯電話・PHSの使用状況

自分専用の携帯電話・PHSの所持率は、小5で約2割、中2で約4割

中2女子では、47%が自分専用を所持

「自分用ではないが、家にはある」を合わせると、小5、中2とも約7割が所持

通話機能の利用頻度は、小5で「まったくしない」が45%

中2では「ほとんどしない」が31%、「まったくしない」が26%

メール機能の利用頻度は、小5で「まったくしない」が61%

中2では、「毎日のようにする」が38%、「まったくしない」は31%

インターネット機能の利用頻度は、「まったくしない」は、小5で75%、中2で49%

子どもに携帯電話を持たせる理由(親)

「子どもとすぐに連絡が取れるから」は小5の親で73%、中2の親で58%

「子どもが欲しいから」は、小5の親で8%、中2の親で29%

子どもに携帯電話を持たせない理由(親)

「子どもには特に必要ない」は、小5の親で82%、中2の親で65%

### 4 パソコンの使用状況

自分専用のパソコンの所持率は、小5で7%、中2で14%

「自分用ではないが、家にはある」を合わせると、小5、中2とも約7割が所持

メールの利用を「まったくしない」は、小5で61%、中2で43%

中2では、「毎日のようにする」が14%

インターネットの利用頻度は、小5では「ほとんどしない」(31%)が最も高く、

中2では「週に1~2回」(27%)が最も多い。

### 5 子ども自身の行動

エッチな雑誌やアダルトサイトを見る(中2のみ)

「ある」(よく、ときどき、たまに)は12%、「まったくない」が85%

インターネットの出会い系サイトの利用(中2のみ)

「まったくない」は、95%

タバコを吸うこと(中2のみ)

「まったくない」は、95%  
親に無断で外泊すること(中2のみ)  
「まったくない」は、94%  
夜遅くまで街をぶらぶらする  
「まったくない」は、小5で94%、中2で78%  
中2の14%は「たまにある」と回答

## 6 将来の展望

将来の夢

「夢がある」割合は、小5で54%、中2で39%  
中2男女別では、男子30%に対し、女子49%が「夢がある」と回答  
中2男子は、「わからない」35%、「特にない」32%

大人になること

「あまり早く大人になりたいと思わない」は、小5で74%、中2で63%  
その理由は「子どもでいる方が楽だから」「大人になることがなんとなく不安だから」  
進学希望

「大学」までが最も多く、小5で44%、中2で52%

将来の職業

男子では「スポーツ選手」(小5で37%、中2で14%)が最も高く、女子では「芸能人  
(歌手・俳優など)」(小5で11%、中2で12%)が最も高い。  
その仕事を選ぶ理由は、「好きなことだから」「やりがいがありそう」

## 7 悩み

体や健康の悩み

「特に悩みがない」は、小5で42%、中2で34%  
最も多い悩みは、「背が高くなりたい」が小5で30%、中2で34%と最も高い。  
友達関係の悩み

「特に悩みがない」は、小5で78%、中2で79%  
最も多い悩みは、「乱暴な友達がいる」が小5で16%、中2で9%と最も高い。

## 8 親や家族等との関係

親との会話

「母親とよく話している」は、小5、中2ともに9割を超える。  
「父親とよく話している」は、小5で82%、中2で69%

親を尊敬しているか

「母親を尊敬している」は、小5で83%、中2で67%

「父親を尊敬している」は、小5で79%、中2で64%  
大きくなったら母親や父親のようになりたいか  
「母親のようになりたい」は、小5で64%、中2で47%  
「父親のようになりたい」は、小5で63%、中2で48%  
家族や身の回りで最初に相談する人  
小5では「母親」が54%、中2では「友達」の40%が最も高く、「父親」に相談するのは小5、中2ともに2%

## 9 イライラすることむかつくこと

友達に対しては、「たまにある」が小5で41%、中2で44%  
先生に対しては、小5では「まったくない」が48%と最も高く、中2では「ときどきある」「たまにある」がともに28%  
親に対しては、「たまにある」が小5で39%、中2で44%と最も高い。

## 10 行動基準

「やる気になれば何でもできる」と考えている割合は、小5で77%、中2で71%  
「困っている人を助けたい」「何事も努力することが重要だ」と考えている割合は、小5、中2ともに8割を超える。  
「将来、日本の社会はよくなる」と考えている割合は、小5で49%、中2で23%

## 11 子育て意識

子どものしつけ

「寝る時間を決めている」親は83%、「食事中はテレビを見ない」が23%

子どもを叱ること

小5の親の9割、中2の親の8割が子どもを叱っている。

どんな人になってほしいか

「思いやりがある」(75%)、「公共心(規則を守り、人に迷惑をかけない)がある」(45%)の割合が高くなっている。

子どもを育てる上で重要視していること

- ・ 「自分のことは自分です」「生命の尊さ、自然の偉大さへの理解」「自分の意見を持つ」ことを重要視する親は9割を超えている。
- ・ 性の問題についての正しい理解  
「どちらかというとも重要視している」と答えた親は、小5、中2とも5割前後であるが、中2の父親(65%)では母親(51%)よりも高くなっている。  
「どちらかというとも重要視していない」は小5で27%、中2で18%
- ・ 「男の子らしく、女の子らしく」を重要視するでは、父親(42%)よりも母親(59%)

の割合が高く、「競争に勝ち抜く」を重要視するでは、母親(38%)よりも父親(55%)の割合が高い。

#### 子育ての喜び

「子どもを育てるのは楽しい」と答えた親は、小5、中2とも約9割

子育ての大変さについては「大変である」と答えた親は、小5、中2とも8割を超え、母親(88%)の方が父親(80%)よりも「大変である」と答えた割合が高い。

#### 子どもとの関係

「うまくいっている」と答えた親は、小5、中2とも9割を超えている。

#### 子育ての意義

「子どもは家族の結びつきを強める」「子育ては次の社会を担う世代を育てていくことでもある」と考える親は9割を超えている。

## 12 親と子どもの価値観の比較

自分が損してまで人を助ける必要はない

親、子どもとも27%が肯定

何事も努力することが重要

親の95%、子どもの85%が肯定

人に見つからなければ、ルールを破ってもかまわない

子どもの17%、親の4%が肯定

子どもでは小5(11%)よりも中2(25%)で肯定する割合が高い。

いのちって不思議だなあ、すごいなと思う

親は95%が肯定しているが、子どもは83%とやや低い。

自分にとって必要ならば、ウソをつくことは許される

親は37%、子どもは18%が許されると回答

子どもでは小5(12%)よりも中2(26%)の方が許されると答えた割合が高い。

将来よりも、今が楽しければよい

親の21%に対し、子どもは41%が肯定